



# 青少年赤十字だより

令和6年4月10日発行 第68号

編集：群馬県青少年赤十字指導者協議会広報部（日本赤十字社群馬県支部内）

〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 TEL 027-254-3636 赤十字の活動を知りたい人は…日本赤十字社URL <http://www.jrc.or.jp>

## 自らの「気づき」を積極的に「実行」へ！

### ～リーダーシップ・トレーニング・センター開催～

夏休み中に県内各地から青少年赤十字のメンバーが参加する行事として「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」があります。赤城山大沼のほとりにある赤城青少年自然の家を会場として、コロナ禍後、期間を縮小して5年ぶりに1泊2日（高校は1泊3日）で開催し、合計86名のメンバーが参加しました。

この研修会では「気づき・考え・実行する」という青少年赤十字の態度目標を共同生活の中で実践しながら、赤十字の精神や、ボランティア、リーダーシップ、救急法などを学びました。また、県内各地から参加するので、普段は知り合うことのない違う地域のメンバーとの交流を図ることができました。

玉村町立玉村小学校

6年 田村 優衣

私はリーダーシップトレーニングセンターで、お米をすい飯器以外でたく方法やそのための道具の名前などを初日の夜おしえてもらえ、みんなでいっしょに準備する大切さや協力がいかに大事かを知りました。私はこういう、とまりで学ぶ合宿に初めて来たので、不安でしたが、友達や先生のフォローのおかげで色々な事を、しっかり知れました。みんなで協力することが、一番大事だと心の中で思いました。

この事を家や学校でうまく、活用していきたいです。



前橋市立第三中学校

3年 田中嶋伊織

トレセンの期間中に常に感じていたのは、号令や指示がない生活の中で、常に「本当にそれで大丈夫なんだろうか」という不安が頭の片すみにあるという緊張と、その中でV・Sリーダーや室長、ホームルーム長などの役を受け、先が確定しない活動の中で皆を引っ張っていくという責任です。しかし、そのような中でも仲間達の協力の下、各活動を順調に行うことができました。この逆境、そして不安、緊張を一定量抱えた中での成功体験は、自らを大きく成長させるものであったと思います。

同時に、今までの学校生活を振り返り、自分の意識が足りていなかった部分に気付くことができたので、夏休み明け2学期以降も自分で考えたV・SやW・Sをしっかりと心に刻み、生活に活かして頑張っていきます。そして、これからも自分が一番に動き、皆の潤滑油になって生活することで、それがどんどん広まって、一人ひとり自発的に行動できる人になっていくという良い循環を作っていきたいです。

以上がこのトレセンの2年間と少しで、私達が身につけてきた成長です。この考え方をこれからも続けていき、他学年にも広めていく。学校全体が自立すれば、それが私達の学校スローガン『チームDAISAN』の達成にもなります。良い体験をありがとうございました。



東京農業大学第二高等学校

2年 松井 清香

今回のトレセンを通し、私自身の日々の行動に対する考え方や見方が大きく変わりました。1日目、日赤に最初に集まった際はとても緊張しており、「これから3日間もやっつけられるのだろうか…」という気持ちで一杯でした。しかし、いざトレセンが始まってみるとそんなことを考えている時間はなく、プログラムに追いついていくのに必死でした。ですが、2日目・3日目では班の人と仲を深めることができ、グループワークなどでの意見交流は私にとって思いつかないようなアイデアを知ることができる有意義な時間にすることができました。

そして、3日間を通して学んだといえることは、ボランティア活動は、自発的・そして人の役に立つように自分の意志で動くことによってその活動に大きな意義を見い出せるということです。この学びは、私が今後JRC活動を行っていく上でとても鍵となる考え方だと私は思います。

なかなか、このような貴重な体験をできることはないので、とても楽しかったです！



# 小学校 青少年赤十字活動紹介

～みんなの仲間が各地でがんばっています～

## みんなの笑顔がかがやく国府小を目指して

【高崎市立国府小学校】……………

本校では、JRC委員と児童会計画委員を中心に、JRC活動を進めています。週に三回行うあいさつ運動や年に二回行うあいさつ週間などの取り組みを通して、「いつでもどこでも誰にでも元気なあいさつ」ができる児童を育成しています。また、ペットボトルキャップとプルタブの回収や複数の募金活動も行っています。今後も、「気づき・考え・行動する」を合言葉に、笑顔がかがやく国府小にしていきたいと思えます。



## 川内小のJRC活動

【桐生市立川内小学校】……………

本校では、あいさつ運動・JRC登録式・募金活動・たてわり活動などをJRC活動として取り組んでいます。たてわり活動では、1・6年、2・5年、3・4年がペア学年となり、上学年が全員で楽しめる遊びを考えて、「なかよしタイム」にいっしょに遊んで交流を深めています。また、本校のあいさつは、「名前をよんで」「目を見て」「心をこめて」の頭文字をとって「なめこあいさつ」と名付け、ポスターで呼びかけたり、代表委員が見本を見せたりして学校全体で取り組んでいます。



## 赤堀小学校のJRC活動

【伊勢崎市立赤堀小学校】……………

本校では、JRC委員会を中心に、月に1回ペットボトルキャップやアルミ缶、牛乳パックなどの資源回収を行っています。委員会の5・6年生が「自分にできること」を考え、エコポイントカードの作成をし、赤堀小のエコの意識を高めていこうと努力しています。9月に行った資源回収では、過去最高の量の資源を回収することができました。自分の考えが様々なところで役立っているということに気づき、実際に行動することができる児童が育ってきています。



## 金島小学校のJRC活動

【渋川市立金島小学校】……………

本校では全児童で「気づき・考え・行動する」ことができるよう日々を過ごしています。そのために、学校生活をよりよくするための約束や行動を児童会役員が中心となり考え、児童集会などで全校に呼び掛けています。ボランティア委員会では、「赤い羽根募金」「花を植える活動」などに取り組んでいます。6年生は本校児童が利用している地域の公民館の清掃活動に取り組んでいます。このように、児童自らが活動を通して「気づき・考え・行動する」ことでよりよい金島小学校となることを目指しています。



## 頼れる高学年！気づき考え行動するを通して

【藤岡市立鬼石北小学校】……………

本校では専門委員会を中心に「気づき考え行動する」活動を行っています。毎月1回、高学年の児童が地域の方や中学生と一緒に玄関に立ってあいさつ運動をしています。本部委員会では心がつながるあいさつを目指して、どんなあいさつがよいか劇をしたり、毎年募金活動を行い自分たちにできる助け合い活動に協力しています。体育委員会ではなかよし集会の企画、保健委員会ではなかよし清掃、図書委員会では読書月間の企画を行い、鬼北小っ子をよりよくする活動をしています。



## 笑顔あふれる大河原小に

【昭和村立大河原小学校】……………

「みんなの笑顔が輝く、学び愛・助け愛・ありがとうのあふれる大河原小学校」をめざしてがんばっています。また、学校や地域を花いっぱい、笑顔いっぱいにするために、JRCや人権の花の種を全校で育てています。春先に低学年が種をまき、梅雨明けに高学年が鉢上げをします。夏には花の苗を「笑顔の花」として、冬には花の種を「笑顔の種」として、家庭・地域の方に配っています。この取り組みを通して、学校・家庭・地域が笑顔いっぱいになっています。





# 中学校 青少年赤十字活動紹介

～みんなの仲間が各地でがんばっています～

## Stay Gold ～自分らしく輝ける箕郷中～

【高崎市立箕郷中学校】……………

本校では、生徒会本部役員が中心となり、JRC活動を行っています。「Stay Gold ～自分らしく輝ける箕郷中～」をスローガンに掲げ、クラスでできる小さな親切、赤い羽根共同募金、エコキャップの回収、使い捨てコンタクトケースの回収、書き損じハガキの回収などの活動に取り組んでいます。これらの活動を通して、主体的に助け合いの気持ちを学び、思いやりの心や奉仕の精神を育てています。今後も青少年赤十字の理念に基づいた実践を継続し、豊かな心を築いていきたいと思っています。



## JRCの一員として

【太田市立南中学校】……………

本校では「自ら気づき、考え、行動する、自立できる生徒の育成」を目指し、あいさつ運動や清掃活動に意欲的に取り組んでいます。JRC委員会の活動では、清掃用具入れを重点的にチェックしたり、校舎内外の環境整備を行ったりと、自ら進んで行動している生徒がたくさんいます。ユニセフ募金や赤い羽根募金など、世界で困っている人たちや自分たちの地域に住んでいる人たちのため、福祉活動にも積極的に取り組んでいます。JRCの一員として視野を広げ、これからも全校で頑張っていきたいと思っています。



## 施設のみなさんの笑顔のために

【館林市立第二中学校】……………

本校ではJRC委員を中心に、地域のデイサービス・老人ホームへ出向き、ボランティア活動を行っています。施設の方が気持ちよく、楽しく過ごせるよう、窓拭き掃除をしたり、昔なつかしい「ふるさと」を合唱したりしました。新型コロナウイルスの影響で、施設の方と直接交流することはできませんでしたが、大変喜んでいただきました。これからもボランティア活動を通して、地域と共に歩み「人道の実現」という大きな目標を目指していきます。



## 赤城北中学校のあいさつ運動

【渋川市立赤城北中学校】……………

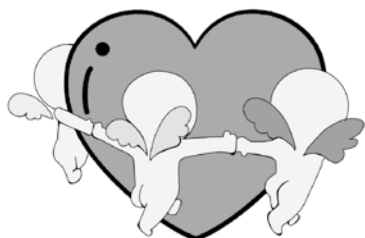
本校では、「大きな声で、こころに響くあいさつをしよう」を目標に、「あいさつ運動」を行っています。昨年度までは学級委員会だけの活動でしたが、今年度から各委員会で担当する日にちを決め、生徒全員があいさつ運動に参加するようになったことで、生徒のあいさつへの意識が高まってきていると感じます。また、青少年育成推進員の方のご協力もいただく等、地域と共に取り組んだことで、あいさつ運動をより充実したものにできました。これからも「一人一人が笑顔で生活できる赤城北中学校」を目指し、全校生徒が一体となって活動をしていきたいと思っています。



## 自分の命令者は自分

【みどり市立大間々東中学校】……………

本校では「気付き・考え・実行する」「自律」を重視した活動を行っています。生徒会を起点とした校則の改定やいじめ防止シンボルマークの作成、JRC委員会を中心とした募金や防災に関する活動など、周囲からの強制ではなく「自分の命令者は自分」となるような取組を心がけています。新たな取組を始めるのではなく、青少年赤十字の理念や自律というフィルターを通して学校の活動を見直し、「自ら進んで」「周囲のためになる」という視点も踏まえながら取組をアップデートできるようにしています。



## みなかみ中学校の、断えず考えるJRC活動

【みなかみ町立みなかみ中学校】……………

本校では、「断えず考える」という生活指針のもと、生徒が考え、実行することを大切にして専門委員会を中心に様々なJRC活動を行っています。環境委員会では、クリーンアップ活動として、校内のきれいに出来る場所と方法を自分たちで考えて、クラス毎に清掃しています。保健委員会では、互いに寄り添う気持ちを高められる方法を考え、ピアサポート活動を行っています。その他の委員会でも、できることに気づき、考え、活動しています。



# 高等学校等 青少年赤十字活動紹介

～みんなの仲間が各地でがんばっています～

## JRCの活動について

### 【群馬県立吉井高等学校】

吉井高等学校のJRC部は、ペットボトルキャップの回収や募金活動、清掃活動等を行っています。昨年の文化祭では、キャップアートやウクライナ人道危機救援募金、復興支援の物品販売なども行いました。また、防災や献血、フードバンクなどについても学び、新たな活動につなげたいと考えています。

最近では、地域に出かけてのボランティア活動も増えてきました。「困っている人を助けたい」という気持ちを持ち、高校生としてできることに「気づき、考え、行動」していきたいと思っています。



## 日々の活動を通して

### 【群馬県立利根実業高等学校】

本校JRC部は、ペットボトルキャップの回収や、コンタクトレンズの空ケースの回収を校内で行っています。校外活動では、公園の清掃や、赤い羽根街頭募金、平和の鐘を鳴らす活動などを、地域の方と協力して行っています。

様々な活動を通して感じるのは、支え合うことの大切さです。どの活動を取っても、沢山の人の協力があって成り立っていることを実感します。人と人をつなぐお手伝いをするのが、私たちの活動の原点です。



## 安中総合学園高等学校JRC部の活動

### 【群馬県立安中総合学園高等学校】

本校JRC部は、1年生8名、2年生2名、3年生6名の16名で、安中市内でのボランティア活動や校内美化活動を中心に行っています。あんなかスマイルパークにて開催された夏祭りや収穫祭など、ここ数年、中止・縮小されていたイベントが再び元の規模で開催される中、多くの貴重な経験をさせていただきました。また、農業系高校の特色を生かした校内の花壇づくりは、季節ごとに行っています。今年度の文化祭『総翔祭』で開催したバザーには、多くの地域の皆さんに会場していただきました。部員手作りの品や生徒・保護者の皆さんに提供していただいた品物を販売し、収益金を日本赤十字社へ寄付することができました。

今後も生徒や地域の皆さんに貢献できるように、自分たちで課題を見つけて積極的に活動していきたいと思っています。



## フードドライブを通してみんなの幸せを考える

### 【群馬県立中央中等教育学校】

みなさんは、「フードドライブ」という活動をご存知でしょうか。フードドライブは、食品を寄付して集め、それを必要とする人々や困難な状況にあるコミュニティに提供するための経済的支援活動です。生徒会本部役員会が主導して行われるこの取り組みは、毎年夏休み前後に実施されます。全校生徒には、自宅で眠っている保存食品を持参していただくように呼びかけます。すると、段ボールひと箱以上の品が集まります。集まった品は、高崎市の社会福祉協議会に寄付しています。



## JRC部の活動について

### 【関東学園大学附属高等学校】

本校のJRC部は、2年1名、3年2名の計3名で活動を行ってきました。今年の6月に行われた松風祭で、市内の福祉施設のパン販売をして、売り上げを館林市役所へ寄付しました。毎年多くの生徒や保護者が購入し、寄付に協力していただいています。普段はエコキャップの回収・古着回収・地域清掃・アルコール消毒の補充などのボランティア活動をしています。また、邑楽・館林地区の高校と協力して、救急救命講習や街頭募金を行いました。今後もボランティア活動を通して地域社会に貢献していきたいです。



## 守ろう 美しい自然 ゆたかな緑

### 【学校法人大出学園支援学校若葉高等学園】

本校の環境教育活動では、「守ろう 美しい自然 ゆたかな緑」をテーマに掲げ、自分たちの手で自然を守ろうという意識を持って日々活動しています。主な活動内容は、リサイクル活動や清掃活動、環境美化活動などです。リサイクル活動では「ペットボトルキャップ」や「プルタブ」を集めて、車いすを必要とされる団体に寄付する活動を行っています。環境美化活動では、定期的に通学路のごみ拾いを実施しています。また、ごみのポイ捨てを防止するため、ポスター作りにも力を入れています。





# 高校生協議会の活動について

## 令和5年度高校生協議会総会

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 2年 山口 奈々  
令和5年5月13日に群馬県生涯学習センターで令和5年度高校生協議会総会が行われました。令和4年度の行事報告やリーダー研修の報告などの発表がありました。役員企画では、防災と心肺蘇生法についての説明を行いました。スライドを用いてわかりやすく説明した後、自然災害が起きた際、72時間生き抜くために持っている役に立つもののクイズや、標識に関するクイズが○×方式で行われました。また、実際に心肺蘇生法を実演することで全参加者の理解を深めました。



## 高校生リーダーシップ・トレーニング・センター

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 2年 深代 杏理  
高校生リーダーシップトレーニングセンターは7月25日、27日、28日に行われました。赤十字の活動目標である「気づき・考え・実行する」をもとに災害に関することを学んだり、身の回りの問題点の解決方法を提案したりと充実した3日間を過ごすことができました。今後の生活で社会貢献、慈善活動をするために必要な知識をたくさん得ることができたので、学んだことを自らだけに留めるのではなく、実際に実行したり、身の回りの人と共有することで今後に活かしたいです。



## 北関東三県支部国際交流事業

太田市立太田高等学校 2年 岩瀬 妃那  
9月23日にアジア学院で北関東三県支部国際交流事業が行われました。アジア学院では、「国際理解・親善」や食事の大切さについて学びました。実際に、アジア学院で自給自足している野菜や動物で本場のカレーを作りました。また、ミャンマーの方にクーターのお話や現地のお話を聞かせていただきました。これらのことから、私は同じ世界でこのような現状があることを知り、さらに「国際理解・親善」について力を入れていこうと思いました。



## 群馬県高等学校総合文化祭 JRC専門部

群馬県立伊勢崎工業高等学校 2年 川原田修治  
専門部大会では基本的な三角巾の結び方から実践的な結び方(額・手首・太腿・腕)までを細かく指導して頂きました。最初は三角巾を包帯のようにするだけでも大変時間がかかりました。また、上手く巻けるかとても心配だったのですが、指導員の方のわかりやすい指導によってよく理解することができました。

いざというときに大活躍するスキルを、実体験を伴って習得することが出来たのでこれからも忘れないように時々練習していつでも出来るように備えたいと思います。



## 青少年赤十字国際交流事業

太田市立太田高等学校 2年 松本さくら  
私は昨年の11月18日に群馬県生涯学習センターで行われた「青少年赤十字国際交流事業メンバー交流会」に参加しました。香港からやって来た2人のJRC部員と交流をする中で、言語の壁はありながらもジェスチャーや表情など他の力を使って補うことでその壁を乗り越えることが出来るということを知りました。一日という短い時間ではありましたが、その一日はとても濃く、有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。この交流事業に参加することが出来て良かったです。



## 高校生ワークショップ発表会

群馬県立伊勢崎工業高等学校 2年 荻原 悠輔  
今回のワークショップ発表会で沢山のことを学び、吸収することが出来ました。まず各学校の発表会では、多くの発表を見る中で多くのアイデアを知ることが出来ました。自分の知らない寄付の団体や、支援できるサイトをここで知ることが出来ました。また各学校の発表のあとに行われた質疑応答の時間では、時に先生方から鋭い質問が投げかけられ、自分の発表のときにも質問を投げかけられました。そこから自分たちの案にもメスをいれ、しっかり改善に繋げる事が出来ました。



日本赤十字社群馬県支部では、メンバーの夏休みを利用して、赤十字や青少年赤十字に関する作文やポスターの作品募集を行っています。これは、各メンバーが青少年赤十字に関心を持ち、活動に対する意欲を高めることを目的として実施しています。なお、入賞者には賞状と副賞を、応募者全員に参加賞を差し上げています。毎年実施していますので、ぜひ皆さん応募してください。

## 青少年赤十字「作文」コンクール入賞者

### 小学生の部

受賞区分	学校名	氏名	学年	作品名
アンリー・デュナン賞	館林市立第二小学校	高本 遼人	5	子どもの自分にできること
人道賞	みどり市立大間々東小学校	星野日向子	5	身近なものに目を向ける
	玉村町立玉村小学校	内山 真秀	2	ヘッドネーションをして
JRC賞	前橋市立永明小学校	山本 希音	5	たった一つの命
	太田市立林泊小学校	黒岩 礼奈	5	清掃ボランティアをして思ったこと
	館林市立第六小学校	関矢 歩花	4	世界の子どもたちのために

### 中学生の部

受賞区分	学校名	氏名	学年	作品名
アンリー・デュナン賞	伊勢崎市立あずま中学校	勅使河原由依	2	お互いが協力し合える社会へ
人道賞	伊勢崎市立あずま中学校	吉田 詩悠	2	生まれてきた命を諦めない世界へ
	太田市立北の杜学園	谷 里保	3	いのちと健康を大切にすること
JRC賞	太田市立北の杜学園	下田 隆太	3	今の自分にできることを
	館林市立第四中学校	多田 心絆	3	いのちと健康について
	館林市立第四中学校	奥澤 日絆	2	命の大切さ

### 高校生の部

受賞区分	学校名	氏名	学年	作品名
アンリー・デュナン賞	東京農業大学第二高等学校	加部 愛菜	2	みんなの当たり前にするために
人道賞	群馬県立桐生高等学校	牧口 桃果	1	一人からできること。
	群馬県立高崎東高等学校	児玉 愛梨	2	視点を世界に向けて
JRC賞	群馬県立高崎北高等学校	常盤まつり	2	いのちと健康を大切にすること
	東京農業大学第二高等学校	鈴木 望来	1	世界のために
	東京農業大学第二高等学校	富井 達也	2	私ができるボランティア活動

### 学校奨励賞 受賞校

(※学校奨励賞は応募総数、応募率等に基づいて決定しております。)

○小 学 校…館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第六小学校、明和町立明和東小学校

○中 学 校…伊勢崎市立あずま中学校、太田市立北の杜学園、館林市立第四中学校

○高等学校…群馬県立高崎東高等学校、群馬県立伊勢崎工業高等学校、東京農業大学第二高等学校

## 青少年赤十字「ポスター」コンクール入賞者

### アンリー・デュナン賞 (最優秀賞)



伊勢崎市立第一中学校  
3年生 藤井絢陽例



太田市立太田高等学校  
1年生 杉浦 心花

### 人道賞 (優秀賞)



明和町立明和東小学校  
2年生 多田 陽翔



伊勢崎市立あずま中学校  
1年生 川島 莉緒



伊勢崎市立あずま中学校  
1年生 小嶋 虹歩



東京農業大学第二高等学校  
1年生 中嶋咲太郎



桐生市立商業高等学校  
3年生 長澤美優花

### JRC賞 (佳作)



伊勢崎市立境小学校  
6年生 大橋 真希



館林市立第九小学校  
5年生 竹井 寧々



明和町立明和東小学校  
4年生 北島直太郎



前橋市立第六中学校  
1年生 小保方葵衣



前橋市立第六中学校  
1年生 米澤 彩愛



伊勢崎市立第一中学校  
1年生 福島 琴



伊勢崎市立あずま中学校  
1年生 白倉 結衣



群馬県立高崎北高等学校  
2年生 関根 優那



群馬県立高崎東高等学校  
1年生 和田 舞花



群馬県立高崎東高等学校  
1年生 木村 朱里



群馬県立高崎東高等学校  
1年生 吉田 彩和